



IR説明会資料 (2009年3月期決算)

株式会社 極 洋 (1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

■ 2009年3月期概要説明

トピックス	<u>3P</u>
企業集団の状況	<u>4P</u>
決算概要	<u>5-19P</u>

■ 2010年3月期業績予想及び施策

連結・単独業績予想	<u>21P</u>
事業セグメント別連結売上高・営業利益予想	<u>22P</u>
事業セグメント別施策	<u>23-25P</u>
設備投資計画	<u>26P</u>

■ 中期経営計画『キョクヨーグループ チャレンジ2012』の概要

『前中期経営計画』(2006年3月期～2009年3月期)の総括	<u>28P</u>
『キョクヨーグループ チャレンジ2012』の基本方針	<u>29P</u>
同 事業セグメント別目標	<u>30P</u>
同 事業セグメント別施策	<u>31-32P</u>

2009年3月期概要説明

■ ㈱ジョッキの株式追加取得・連結子会社化 (2008年9月)

- ・海産物珍味の加工及び販売を営む当社関連会社(㈱ジョッキの株式)を追加取得、当社の連結子会社とする。
(当社出資比率 20%→70%)
- ・販路開拓、商品開発、品質管理など連携強化、シナジー効果発揮を目指す。

■ キョクヨーマリンファーム(株)2年目の活け入れ完了。(2009年10月初出荷予定) (2008年9月)

■ CSR活動の一環として「極洋グループ社会・環境報告書2008」発刊 (2008年9月)

■ 海外まき網船代船建造着工 (2008年11月)

- ・2008年7月試験操業のための建造許可、第7わかば丸と命名。2009年9月竣工予定。

■ 自己株式取得 (2008年4月、10月～12月)

- ・4月に176千株、30百万円 10月～12月に404千株、78百万円 合計580千株、109百万円にて取得

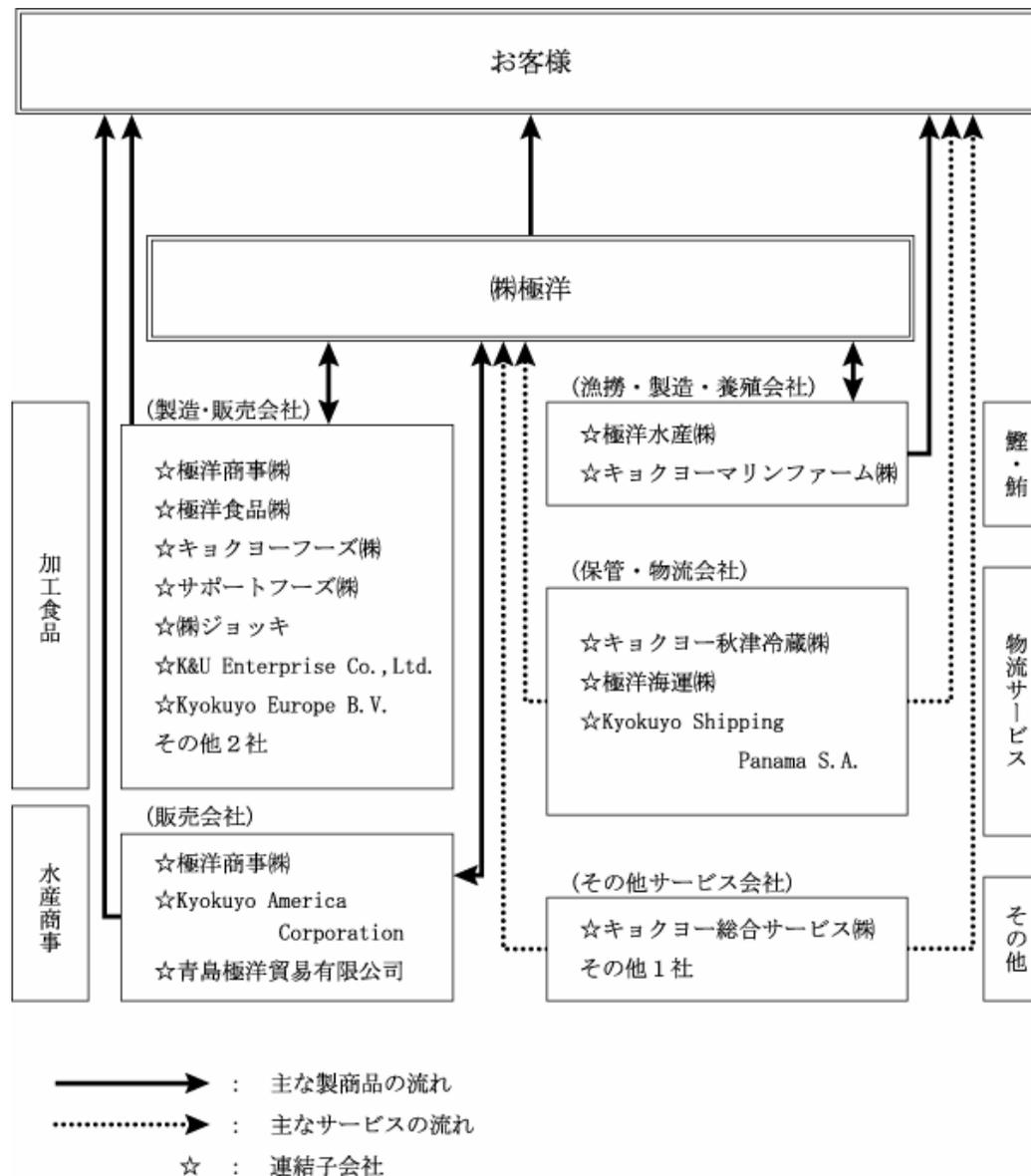
■ 新キャッチコピー発表 (2009年1月)

- ・『いつも となりに おいしいキョクヨー』

■ 株主優待制度新設を発表 (2009年2月)

- ・1単元以上所有株主に当社製品を贈呈

■ 次期中期経営計画『キョクヨーグループ チャレンジ2012』を策定 (2009年3月)



08年9月 当社関連会社である(株)ジョッキの株式を追加取得し、連結子会社としました。
 09年3月現在、当社グループの子会社は16社、その他関係会社は2社です。

1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	08年3月期	09年3月期	前期比		09年3月期		09年2月20日 業績予想修正
			(増減金額)	(比率)	当初計画	達成率	
売上高	147,767	147,554	△213	△0.1%	155,000	95%	147,000
営業利益	2,926	2,981	55	+1.9%	3,300	90%	3,400
営業外収益	443	410	△32	—	—	—	—
営業外費用	528	519	△9	—	—	—	—
経常利益	2,841	2,873	32	+1.1%	2,900	99%	3,000
特別利益	13	25	11	—	—	—	—
特別損失	166	38	△128	—	—	—	—
税金等調整前 当期純利益	2,687	2,860	172	+6.4%	—	—	—
当期純利益	1,497	1,587	89	+6.0%	1,500	106%	1,600

- ・09年3月期当初計画は08年5月14日に発表した業績予想数値です。
- ・売上高は、水産商事事業、加工食品事業の売上減を物流サービス事業、鯉・鮪事業の売上増で補完出来ずほぼ前期並みながら当初計画には及びませんでした。
- ・営業利益は、水産商事事業、加工食品事業において前期実績を上回ったものの、鯉・鮪事業、物流サービス事業では下回りました。この結果、全体では前期比増益ながら当初計画は下回りました。
- ・営業外収益は主に外国為替差益減により前期比減、営業外費用は支払利息減により前期比減となりました。
- ・経常利益は前期比微増、当初計画は下回りました。
- ・特別利益、特別損失は、前期は貸倒引当金繰入額が発生しましたが、当期は特記すべきものはありません。
- ・当期純利益は前期実績、当初計画とも上回りました。

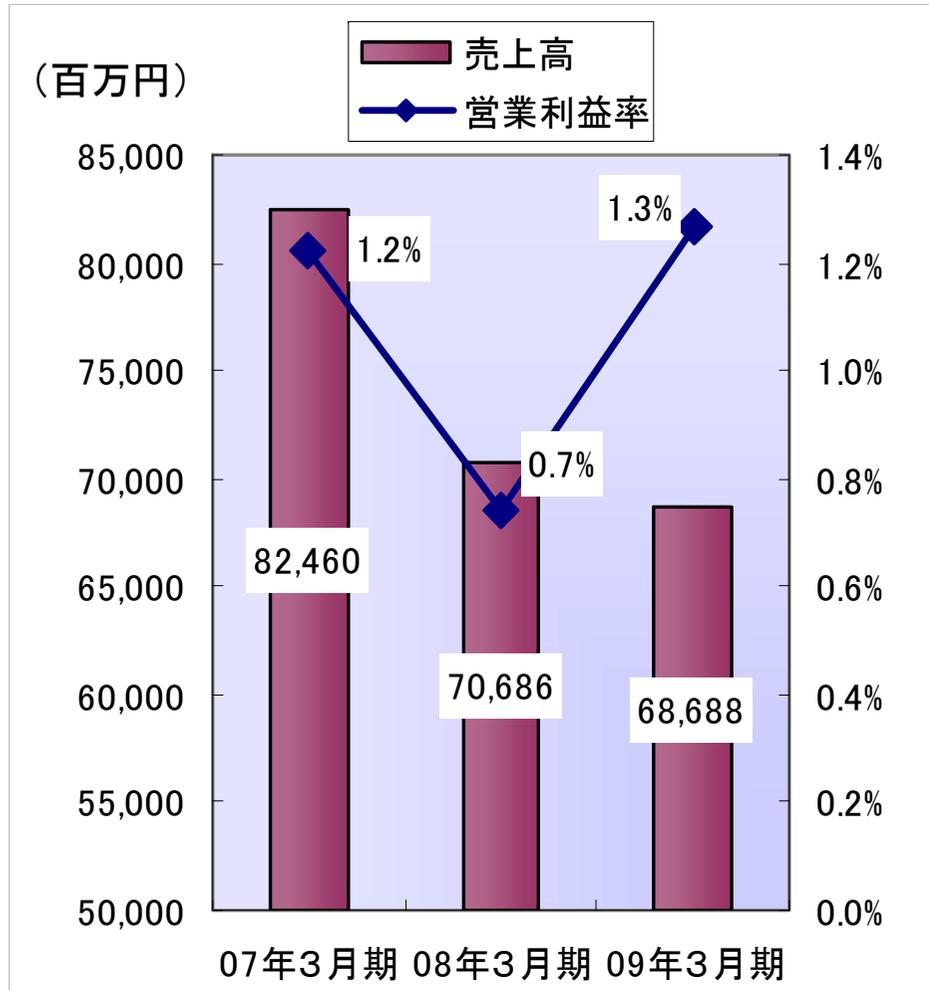
2. (連結)事業セグメント別売上高・営業利益(前期比較)

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	08年3月期 実績	09年3月期 実績	前期比	08年3月期 実績	09年3月期 実績	前期比
水産商事	70,686	68,688	△1,998	523	871	347
加工食品	55,145	54,239	△905	637	1,055	418
物流サービス	5,474	6,223	749	692	522	△169
鰹・鮪	16,372	18,310	1,938	1,330	875	△454
その他・本部調整	88	91	2	△ 257	△ 343	△86
合計	147,767	147,554	△213	2,926	2,981	55

3. (連結)事業セグメント別概況、売上高・営業利益率

(1) 水産商事事業—水産物の買付・販売



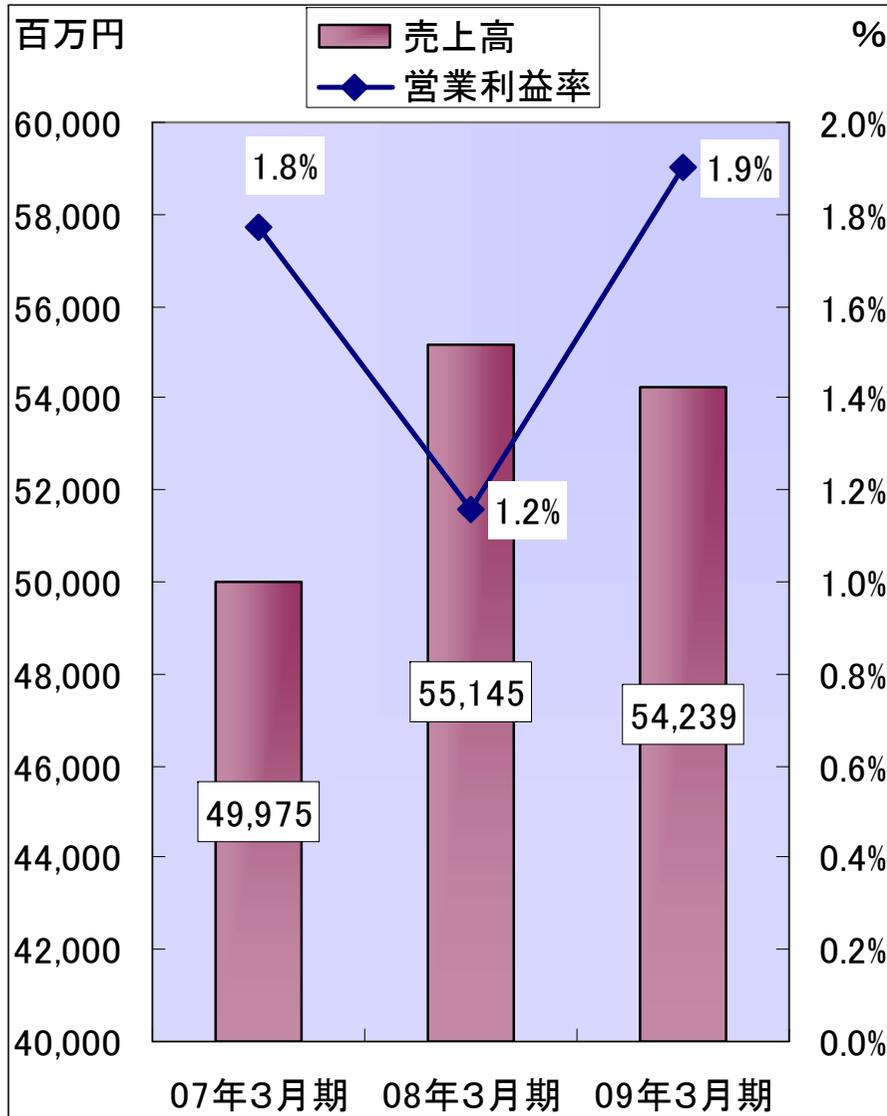
売上高前期比減少の主な要因

- ① 上半期は、ほっけ等の北洋魚や鮭鱒などを中心に拡販。
 下半期以降はまだら等北洋魚やかかななどの急激な価格下落で売上は伸び悩み。

営業利益率前期比好転の主な要因

- ① 上半期は、前期上半期に発生した一部魚種での処分損などの発生もなく利益を計上。
 下半期は、急激な相場変動による損失が発生したが、付加価値製品の拡販に努めたことなどから通期で利益を確保。

(2)加工食品事業—冷凍食品、常温食品の加工及び販売



売上高前期比減少の主な要因

水産冷凍食品

- ・切身魚・焼魚・煮魚等の取扱い減

調理冷凍食品

- ・豚肉製品、イワシフライ等の取扱い減

【中国製品買い控え、輸出入検査強化による搬入遅延等】

常温食品

- ・魚介缶詰(かつお、まぐろ、さば等)の売上増
- ・ジョッキの子会社化による取扱い増

営業利益率前期比好転の主な要因

- ・販売価格転嫁の実施
- ・国内関係会社工場の稼働率向上
- ・KUE社の欧米向寿司種の拡販

(3) 物流サービス事業—冷蔵倉庫事業、冷蔵運搬船事業

冷蔵倉庫事業は、入出庫・保管業務に加え、周辺業務の輸出バンニングや配送等への積極的な取組みで、売上、利益とも前期を上回りました。

冷蔵運搬船事業は、貸船契約、中長期契約の獲得等による採算を重視した効率的配船を実施し、売上は前期を上回りましたが、為替相場や燃油価格の乱高下の影響を受け利益は前期を下回りました。

(4) 鰹・鮪事業—鰹鮪加工及び販売事業・海外まき網事業・養殖事業

(1) 鰹鮪加工及び販売事業

- ・当社独自の調達ルートを活用と新製品開発に注力し加工品の拡販に努めたことで売上高は前期を上回りました。

(2) 海外まき網事業

	08年3月期	09年3月期	前期比
水揚数量(トン)	29,633	27,455	△ 2,178
水揚金額(百万円)	5,038	5,247	209
単価(円/KG)	170	191	21

(3) 養殖事業

- ・キョクヨーマリンファーム(株)2年目の活け入れ完了。
- ・4基の生簀で順調に成育中。

4. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

主な増減内訳(対前期比)

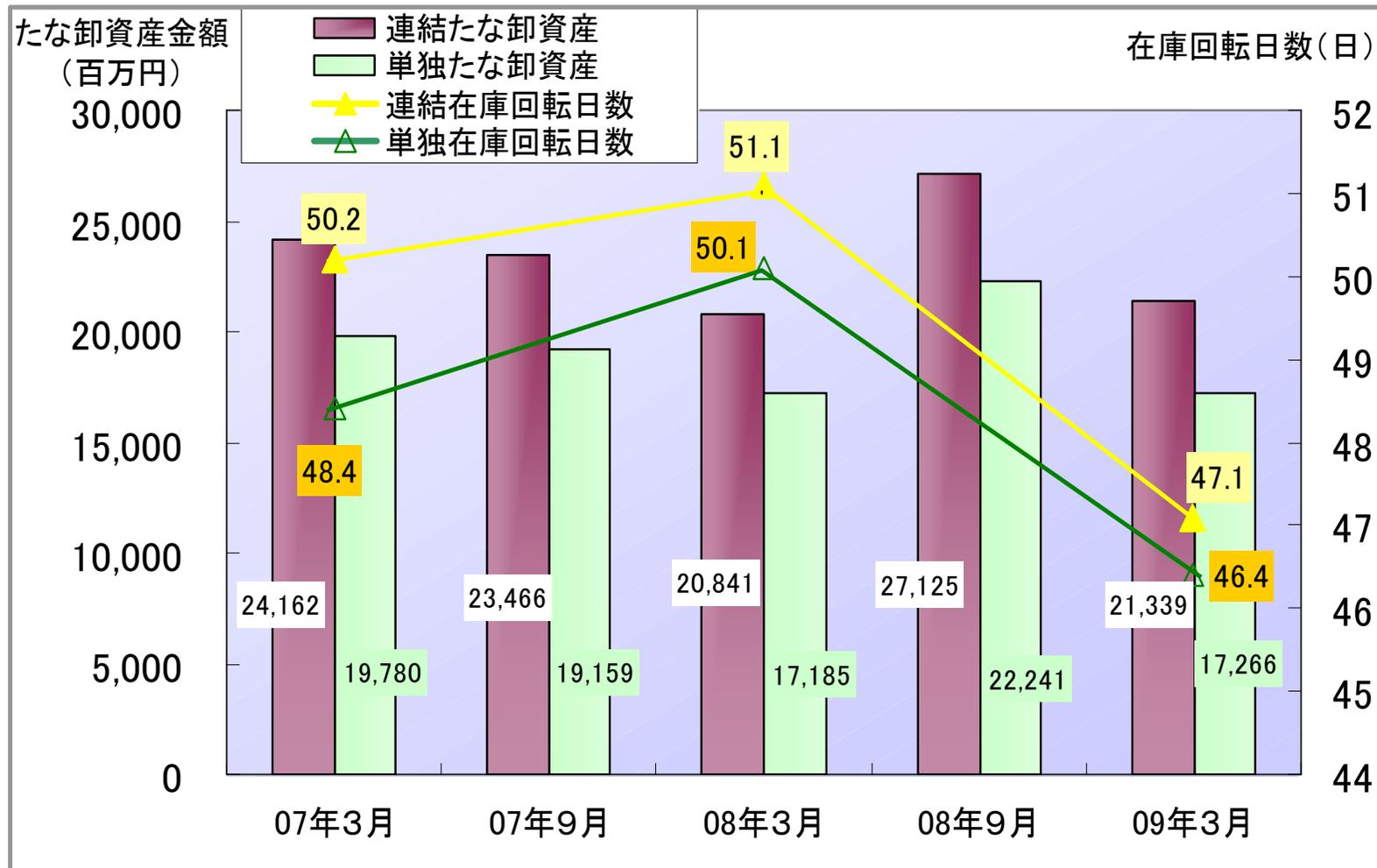
	資産の部		
	08年3月末	09年3月末	前期比
流動資産	41,050	43,752	2,702
固定資産	16,323	17,432	1,108
資産合計	57,373	61,184	3,810
	負債の部		
	08年3月末	09年3月末	前期比
流動負債	35,105	37,594	2,488
固定負債	4,504	5,747	1,242
負債合計	39,610	43,341	3,731
	純資産の部		
	08年3月末	09年3月末	前期比
純資産合計	17,762	17,842	79

流動資産	
[現金及び預金]	9億円
[受取手形・売掛金]	10億円
・ジョッキ4億円	
[たな卸資産]	4億円
・ジョッキ7億円	
固定資産	
[有形固定資産]	14億円
・海外まき網船建造	7億円
・ジョッキ	13億円
[投資その他の資産]	△5億円
・投資有価証券	△13億円
流動負債	
[短期借入金]	27億円
・ジョッキ	12億円
[リース債務]	3億円
固定負債	
[長期借入金]	7億円
・新造船他	12億円
[リース債務]	6億円
[退職給付引当金]	7億円
純資産	
[株主資本]	9億円
[評価・換算差額等]	△9億円

5. キャッシュ・フロー計算書(連結)

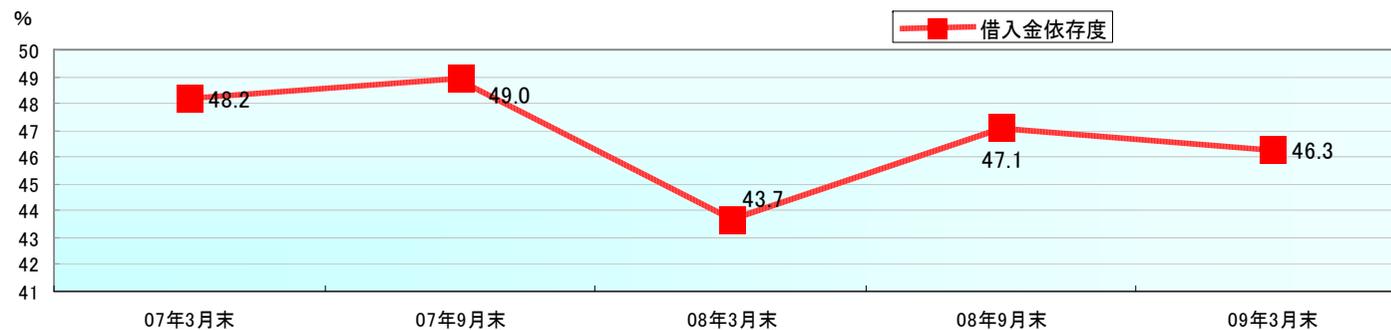
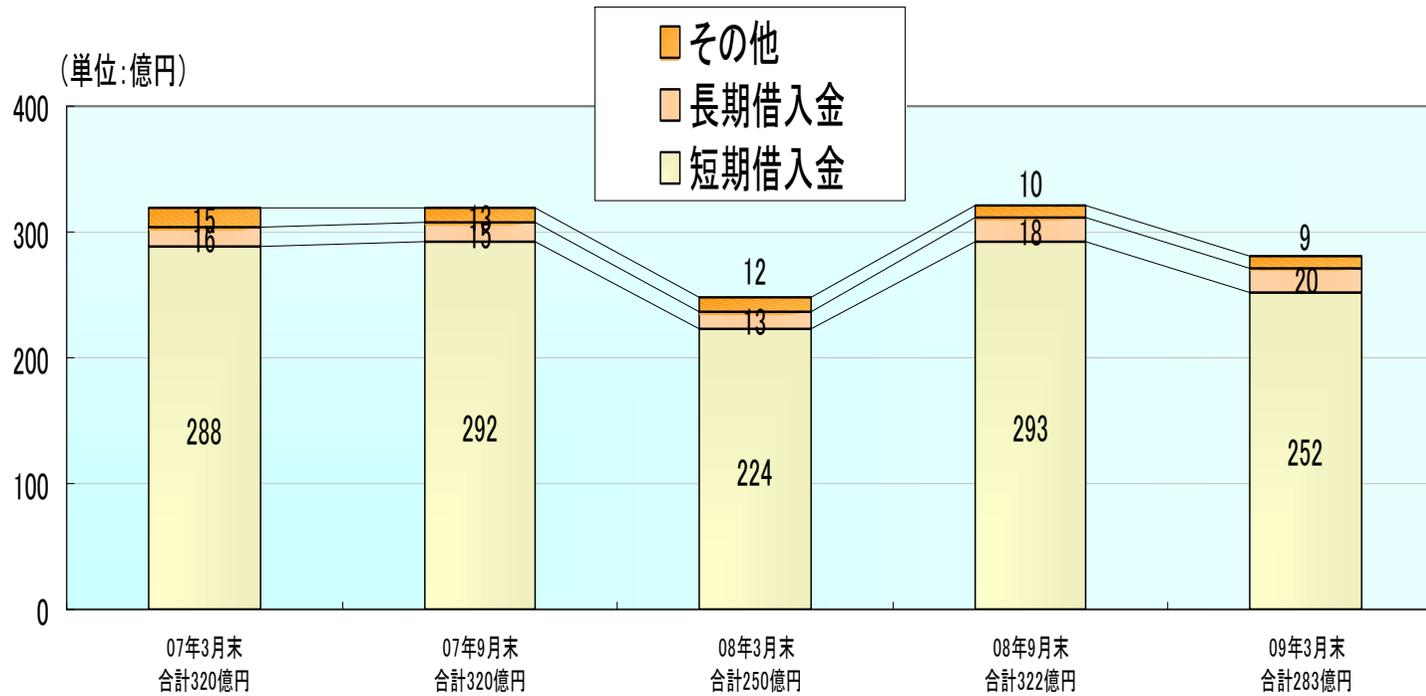
	08年3月期	09年3月期	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円) 9,288	(百万円) 2,346	税金等調整前当期純利益 28億円 減価償却費 13億円 売上債権増 △5億円 法人税等の支払 △17億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,068	△2,202	固定資産の取得 △17億円 子会社株式の取得 △3億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△7,462	799	短期借入金増 17億円 長期借入金増 3億円 配当金の支払 △5億円
現金及び現金同等 物に係る換算差額	△10	△71	
現金及び現金同等 物の増減額	△253	870	
現金及び現金同等 物の期首残高	3,090	2,836	
現金及び現金同等 物の期末残高	2,836	3,707	

6. たな卸資産金額・在庫回転日数推移



・在庫回転日数の算出には前期末と当期末商製在庫高の平均値を使用しています。

7. (連結)有利子負債 推移



借入金依存度(有利子負債/総資産)

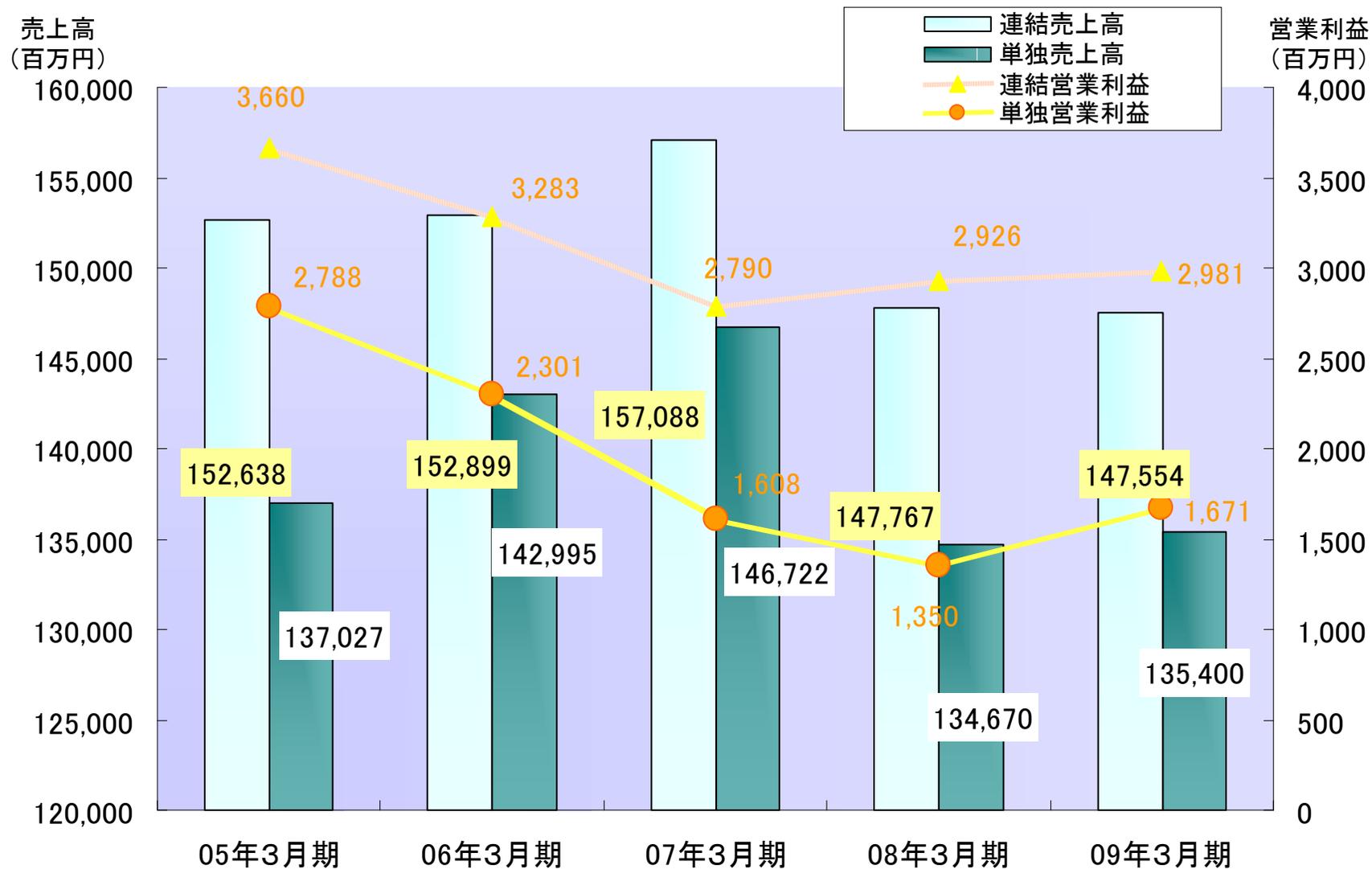
09年3月末の有利子負債残高は283億円と08年3月末から32億円増加しました。

8. (連結)経営指標

	08年3月末	09年3月末	前期比
純資産	17,762百万円	17,842百万円	79百万円
自己資本比率	30.5%	28.7%	△1.8ポイント
自己資本利益率(ROE)	8.3%	9.1%	0.8ポイント
総資産経常利益率(ROA)	4.6%	4.8%	0.2ポイント
売上高営業利益率	2.0%	2.0%	0ポイント
1株当たり純資産	164円79銭	165円72銭	93銭
1株当たり当期純利益	13円89銭	14円97銭	1円08銭
配当性向(%)	36.0%	33.4%	△2.6ポイント

- ・純資産は、利益剰余金は続伸しましたが、その他有価証券評価差額金が7億9千7百万円減少したことなどにより7千9百万円増に留まりました。
- ・自己株式取得などの影響により、1株当たり純資産、1株当たり当期純利益の当期指標は前期を上回りました。

9. (連結・単独) 売上高・営業利益推移



10. 単独損益計算書

(単位:百万円)

	08年3月期	09年3月期	前期比		09年3月期		09年2月20日 業績予想修正
			(増減金額)	(比率)	当初計画	達成率	
売上高	134,670	135,400	729	+0.5%	143,000	94.7%	135,000
営業利益	1,350	1,671	320	+23.7%	1,800	92.8%	1,900
経常利益	1,502	1,753	251	+16.7%	1,800	97.4%	2,000
当期純利益	981	1,068	86	+8.8%	1,000	106.8%	1,000

- ・09年3月期当初計画は08年5月14日に発表した業績予想数値です。
- ・当期は水産商事事業の売上及び利益増などにより前期比増収増益を確保しましたが、全般的には当初計画に及びませんでした。

11. (単独)魚種別品種別 売上数量・金額・単価

(1)水産加工事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円//KG)

	08年3月期			09年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鮭鱒	24,065	14,117	587	25,096	15,023	599	1,030	906	12
南方魚	6,429	4,053	630	6,890	4,240	615	461	187	△ 15
北洋魚	36,550	17,199	471	39,939	17,508	438	3,389	309	△ 33
エビ	17,639	16,872	957	19,700	17,283	877	2,061	411	△ 80
カニ	4,373	7,589	1,735	3,770	6,762	1,794	△ 603	△ 827	59
鱈鯖鱒	5,995	2,105	351	5,432	2,064	380	△ 563	△ 41	29
魚卵	2,318	3,075	1,327	2,915	4,223	1,449	597	1,148	122
その他	6,090	4,243	697	6,358	4,357	685	268	114	△ 12
計	103,459	69,253	669	110,100	71,460	649	6,641	2,207	△ 20

(2)海外事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	08年3月期			09年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
北洋魚	7,957	1,634	205	6,014	970	161	△ 1,943	△ 664	△ 44
鮭鱒	1,807	423	234	808	221	274	△ 999	△ 202	40
その他	473	234	495	784	391	499	311	157	4
計	10,237	2,291	224	7,606	1,582	208	△ 2,631	△ 709	△ 16

(3) 冷凍食品事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	08年3月期			09年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
水産冷凍食品	27,883	24,564	881	26,396	23,563	893	△ 1,487	△ 1,001	12
調理冷凍食品	30,497	16,602	544	27,856	16,370	588	△ 2,641	△ 232	44
計	58,380	41,166	705	54,252	39,933	736	△ 4,128	△ 1,233	31

(4) 常温食品事業

(金額:百万円)

	08年3月期	09年3月期	前期比
缶詰・練製品他	7,307	8,114	807

(5) 鯉・鮪事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	08年3月期			09年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鯉鮪(原料買付販売)	2,206	1,705	773	1,128	1,070	949	△ 1,078	△ 635	176
鯉鮪(加工品)他	18,878	12,345	654	18,564	12,640	681	△ 314	295	27
計	21,084	14,050	666	19,692	13,710	696	△ 1,392	△ 340	30

2010年3月期業績予想及び施策

1. 連結業績予想

(単位:百万円)

	09年3月期 実績	10年3月期 予想	前期比	
			金額	率
売上高	147,554	160,000	12,446	8.4%
営業利益	2,981	3,400	418	14.0%
(営業利益率)	2.0%	2.1%	-	0.1%
経常利益	2,873	3,300	427	14.8%
(経常利益率)	1.9%	2.1%	-	0.2%
当期純利益	1,587	1,800	213	13.4%

・連結では、前期比売上高124億円(8.4%)増、
営業利益4億1千8百万円(14.0%)増、
営業利益率0.1%増を見込みます。

・経常利益は、前期比4億2千7百万円増を予想
します。

・当期純利益は、前期比2億1千3百万円の増を
見込みます。

2. 単独業績予想

	09年3月期 実績	10年3月期 予想	前期比	
			金額	率
売上高	135,400	146,000	10,600	7.8%
営業利益	1,671	2,000	328	19.6%
(営業利益率)	1.2%	1.4%	-	0.2%
経常利益	1,753	2,300	546	31.2%
(経常利益率)	1.3%	1.6%	-	0.3%
当期純利益	1,068	1,300	232	21.7%

3. 事業セグメント別連結売上高・営業利益予想

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	09年3月期 実績	10年3月期 予想	前期比	09年3月期 実績	10年3月期 予想	前期比
水産商事	68,688	74,000	5,312	871	1,300	429
加工食品	54,239	61,000	6,761	1,055	1,500	445
物流サービス	6,223	5,500	△ 723	522	400	△ 122
鰹・鮪	18,310	19,500	1,190	875	800	△ 75
その他・本部 調整	91	0	△ 91	△ 343	△ 600	△ 257
合計	147,554	160,000	12,446	2,981	3,400	419

- ・水産商事 水産加工品の更なる拡販と海外ネットワーク活用などにより増収増益を見込みました。
- ・加工食品 寿司関連商材の充実や国内関係会社工場の稼働率上昇などにより増収増益を見込みました。
- ・物流サービス 海運事業の市況軟調傾向などを織り込みました。
- ・鰹・鮪 海外まき網新船投入による償却負担増の影響などを見込みました。

4. 施策

『キョクヨーグループ チャレンジ2012』の1年目として

内需中心の取組みを推進し各事業の収益安定化へ注力

水産商事事業

国内外の仕入先との信頼関係を礎に調達ルートを拡充

海外漁業会社との連携、安心・安全志向による天然物原料の安定確保
(北洋魚、ロシア産紅鮭、カニ、シシャモ、海老他)

海外養殖事業者との連携強化
(バス、テラピア、チリトラウト、海老)

商品開発力の強化

高次加工付加価値商品、価格訴求に対応した新製品の開発と販売ルートの開拓
(スモークサーモン、カニ剥き身、北洋魚切身、伸ばし海老)

加工食品事業

生産拠点の整備・拡充

国内関係会社工場における調理冷凍食品の生産能力アップと拡充

- | | |
|----------|--|
| 極洋食品 | ⇒ えびフリッター、クリーミーフライ、グラタン
レトルト製品、学校給食 |
| キョクヨーフーズ | ⇒ かにかま |
| サポートフーズ | ⇒ 北海道産原料の唐揚げ |

K&U Enterprise Co.,Ltd.の設備更新、増強による寿司関連商材の供給拡大

青島駐在員事務所内に中国食品安全管理室を設置(2009年4月)
(中国における品質管理体制の更なる強化)

販売戦略の強化

未開拓販路の積極的な開拓

国内外養殖業者との連携強化による寿司・刺身商材の製品ラインアップの充実
新製品の開発

(株)ジョッキとのコラボによる新製品の開発、キョクヨーブランド珍味商品販売の推進
常温食品部大阪営業所設置による西日本での常温食品拡販(2009年4月)

物流サービス事業

冷蔵倉庫事業

集荷貨物の積極的な確保
周辺業務(輸出、運輸等)の拡充

冷蔵運搬船事業

基本船隊の維持・確保と配船の効率化

鯉・鮪事業

- ・キョクヨーマリンファーム(株) まぐろ養殖事業の初出荷(2009年10月予定)
- ・最新鋭海外まき網船「第7わかば丸」竣工
(2009年9月竣工、10月より試験操業開始予定)
- ・極洋水産大井川工場 工場設備増強による高付加価値製品の製造強化
- ・仕入拡販体制強化のため、鯉鮪事業部の組織変更実施(2009年4月)



5. 設備投資計画

(1) 極洋(単独) 7億円

鯉鮪加工工場・設備増強	2億円
	(翌期にかけ総額8億円)
まぐろ養殖設備増強	1億円
調理食品加工設備増強	2億円
ソフトウェア	2億円

(2) 関係会社 22億円

海外まき網船建造	13億円
	(前期建仮分含め総額21億円)
同 搭載艇建造	2億円
関係会社工場 製造設備増強他	7億円

合 計 29億円

中期経営計画
『キョクヨーグループ
チャレンジ2012』
(2010年3月期～ 2012年3月期)

成果

将来の収益拡大に向け事業基盤の着実なる拡充

■海外における買付・生産及び販売拠点の設立

K&U Enterprise Co.,Ltd.、青島極洋貿易有限公司、KYOKUYO EUROPE B.V. の設立

■業務提携、M&Aによる事業基盤の拡充

(株)あきんどスシローとの業務提携、(株)ジョッキの連結子会社化

■鯉・鮪事業の強化

- ・一船買いからの撤退、買付ルート拡充による収益安定化
- ・キョクヨーマリンファーム(株)設立による養殖事業への参入
- ・海外まき網船1隻の代船建造決定

課題

事業環境の激変の中、目標の未達

■水産商事事業における相場損の発生

■調理冷凍食品事業・水産冷凍食品事業における目標未達

■海外販売拡大の目標未達

(百万円)

連結	2009年3月期 目標	2009年3月期 実績	達成率
売上高	165,845	147,554	89.0%
経常利益	3,870	2,873	74.2%

世界的な景気後退の状況下、今後の見通しは不透明な環境が続くと想定

基本方針の明確化

既存4事業セグメントを柱に当社の有する独自性・優位性を一層強化することによる**収益安定化**

成長が期待される分野への積極的な挑戦による**収益基盤の拡大**

短期: 内需中心による収益確保

中期長期: 海外戦略、M&Aを含め積極的な取組み

環境の変化に耐えうる**財務体質の維持強化**

中期目標
(連結)

2012年3月期最終年度 目標

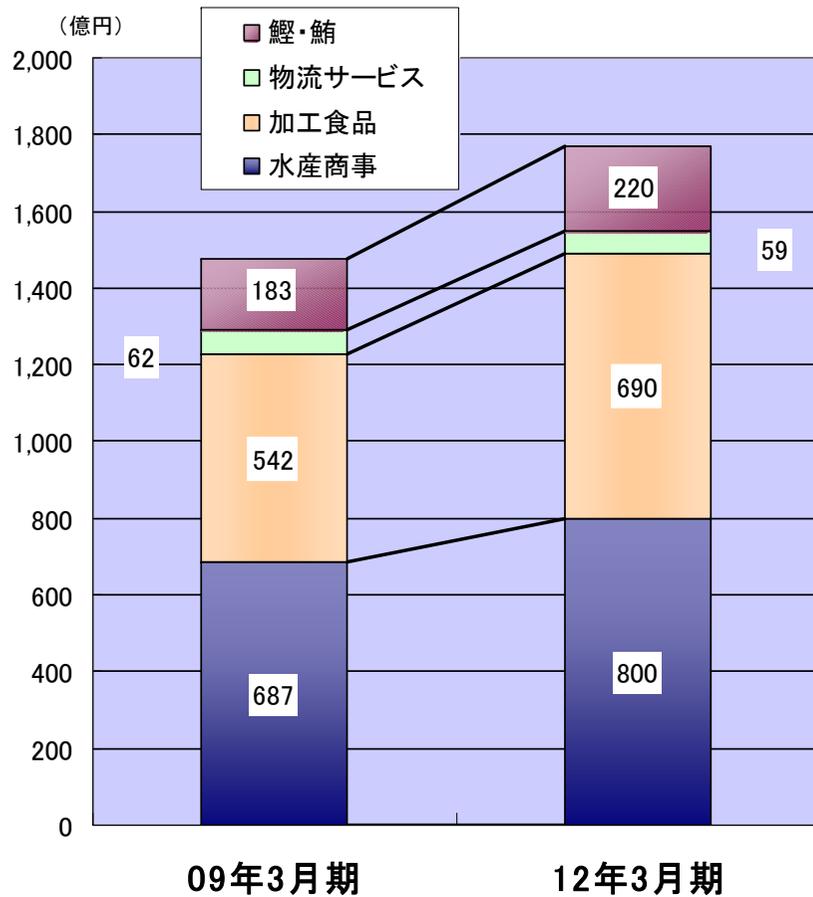
売上高 **1,770億円** 営業利益 **42.5億円** 経常利益 **40億円**

自己資本利益率(ROE) **10%**

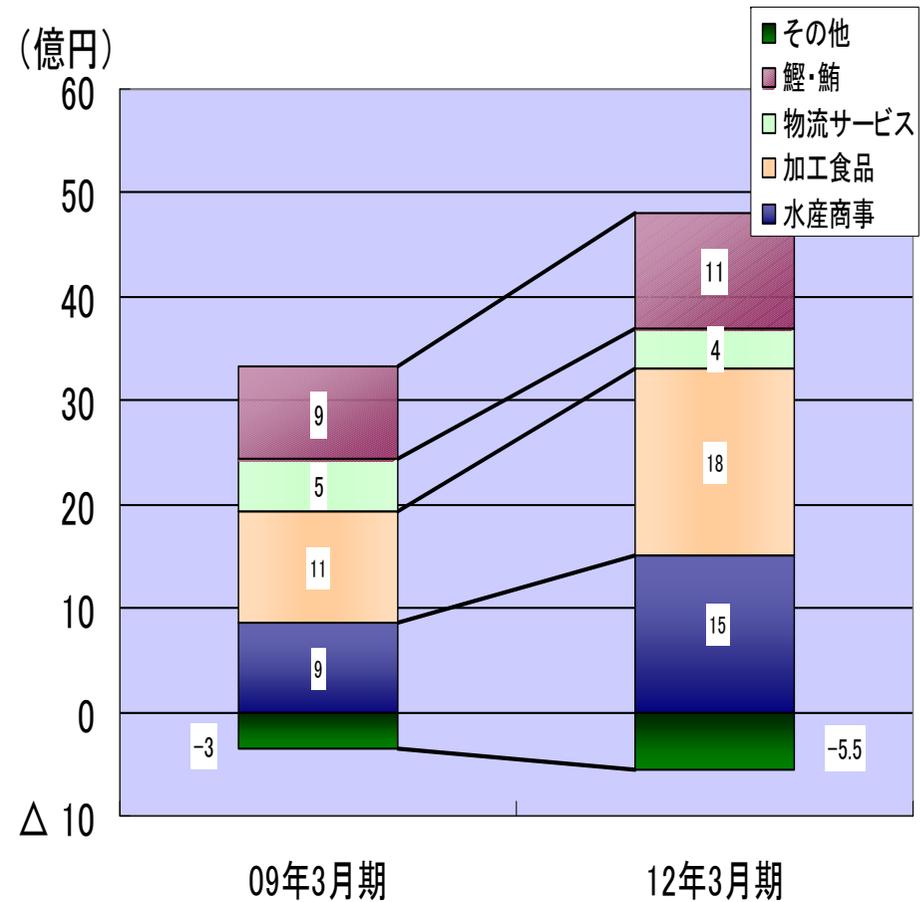
自己資本比率 **30%**

事業セグメント別連結売上高・営業利益(目標)

(1) 売上高



(2) 営業利益



水産商事事業 **調達・販売戦略強化、加工品の取扱い拡充と適正在庫順守による収益安定化**

◆ 水産物の調達力の強化

国内外の仕入先との信頼関係を礎に調達ルートを拡充

◆ 販売戦略の強化

商品開発力の強化

海外販売の拡大

加工食品事業 **お客様のニーズにあった商品開発の推進、徹底した品質管理体制のもと安心・安全な商品の拡販による収益安定化**

◆ 生産拠点の整備・拡充

◆ 販売戦略の強化

◆ 回転寿司チェーン店の海外進出支援

物流サービス事業

効率的な事業運営の継続による収益安定化

鯉・鮪事業

漁獲・生産から加工、販売まで一貫体制の
確立による収益安定化

- ◆ 漁撈、養殖事業の強化—強化されつつある国際的な漁業規制への対応から水産資源アクセスの強化
- ◆ 生産拠点の整備・拡充 ⇒ 大井川工場の体制強化

事業支援部門

- ◆ 安心・安全な商品の供給のためのより強固な品質管理体制の確立
- ◆ 物流システムのさらなる効率化
- ◆ リスク資産や有利子負債の削減

本資料は2009年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。したがって実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。



当資料に関する問い合わせ窓口

株式会社 極洋 企画部 電話03-5545-0703